

# おい書館 No. 38

## 再び

### 大蔵省関東財務局

#### 訪ねて

五月二十日、千葉市椿森にあります大蔵省千葉財務事務所管財課に行ってきました。現在図書館候補地になっていきます相模台中央公園、大蔵省関税中央介折所の移転がどのような状況になつてゐるか伺ってきました。

平成九年度、移転にかかる経費に対する調査費がついたそうです。柏に新しい建物が出来移転出来るのが、早くて平成十三

年と予想してゐるそうです。

その間に、現在払い下げを希望してゐる松戸市と聖徳短大、そして大蔵省の三者で利用計画や事業計画を基に話し合うとのことでした。今回も、昨年二月に来た時同様に、自治体に優先権はないと言われました。

払い下げ価格はどうのようにして決まるのか聞きますと、利用目的によつて払い下げ価格が変わり、すべてが時価というわけではないと言われました。目的が限定される用途指定がつくと、 $\frac{1}{2}$ や、 $\frac{1}{3}$ になり、減額出来るものはするそうです。



新回にも説明がありました。

土地の利用計画については、国有財産審議会に諮問されます。どちらかに定むるかを決める選考委員会ではないということですが、かなり重要な位置にあるようです。私たち松戸市民が、どれだけ中央図書館を必要としてゐるか、そのための土地の確保を必要としてゐるかを訴えていくことが大切なようです。

平成十三年まで待てますかと問われましたが、しっかりと構想、計画を立て、一人でも多くの市民の声を反映していくには、その位の時間は経つてしまふのではないのでしょうか。

今年度に入って、相方からの動きはないと聞きました。積極的な松戸市の働きかけを期待したいです。

(磯村 光良)

# 松戸市の学校図書館 図書整理員... その後...

五月二十三日、教育委員会指導課長の平野氏(新任)と面談し、図書整理員(名簿いまだ不明確)の配置状況を伺いました。置いて間もないので、直すこともあまりないと前置きしての小一時間でした。それによると、委員五名は、市立図書館に問い合わせてたり、公社等より採用し、すでに四月より各学校を巡回しています。市には小、中六十八校あるのと、一枚につき一学期四日程の勤務が目安です。学校側とは、図書整理員にどのような動いてもらったら良いのか、事前に検討をしいなかつたのと、指導課の方か

ら学校長に大まかな仕事内容を伝えていきます。

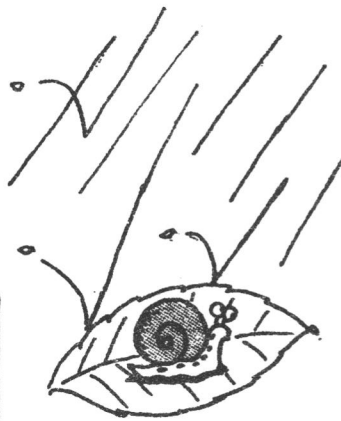
今のところ、図書委員の子ども達との接触はなく、二学期も一学期と同様に本の整理をする事になります。

聞き出せたのは以上のみです。就業規則等の具体的なものは、何一つ教えてはくれませんでした。

私たちは配置された図書整理員をどのように生かして、子どもに反映させていったら良いのか、学校側の対応が重要になると思うのと、学校長の間を検討し、研究をすすめて欲しいこと、現場を知りたいのと、図書整理員の方から直

接お話を聞きたいと伝えて帰りました。

子どもは日々成長します。間に合わせの教育とは、それこそ間に合いません。私たちの活動内容をもっとしっかり伝え、理解してもらい、子どもによりよく反映されていくよう支援し、活動していかねければと思っ



「小中学校図書館に専任の司書を置こう! ネットワーク千葉」  
篠沢 治子  
橋本 恵子

発行 「おーい 図書館」  
連絡先 青木 和子

松戸市総合八三〇、六〇  
〇四七(三六七)五三八四